

●朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)

金正恩國務委員長とトランプ米大統領が板門店の南側地域で面会、会談

2019年7月1日付『朝鮮新報』によれば、同年6月30日、板門店の南側地域「自由の家」で金正恩委員長とトランプ大統領が面会し、会談を持った。金正恩委員長とトランプ大統領は板門店の休戦ラインの前で対面を行い、トランプ大統領は金正恩委員長と共に、一時的にはあるが、北側地域に立ち入った。金正恩委員長を文在寅大統領が「自由の家」の前で迎えた。金正恩委員長は、文在寅大統領と温かくあいさつを交わした。その後、朝米首脳の間で単独会談が行われた。会談には、北朝鮮側から李容浩外相が、米国側からマイク・ポンペオ國務長官が陪席した。

平壤市の326電線工場で廃アルミニウムからアルミニウムを内製

2019年7月5日付『朝鮮新報』によれば、平壤市の326電線工場では、原料となるアルミニウムを廃アルミニウムから生産する工程を工場内に導入することにより、原料を安定的に確保しているとのことである。

平安南道陽徳郡の温泉観光地区の建設

2019年7月9日付『朝鮮中央通信』、同日10日付『朝鮮新報』によれば、平安南道陽徳郡の温泉観光地区の建設が急ピッチで進んでいる。同地区は、療養区画、休養区画、総合サービス区画、ホテル区画に分けられ、建設は各所で同時に行われている。建設は軍民共同で行われ、軍

人建設者たちは、建設機械手段を総動員して工事の速度を高め、療養棟、治療棟、休養棟など大きな建物の骨組み工事を完成したとのことである。

労働新聞、勤労者共同社説「自力更生は朝鮮革命の永遠なる生命線」

2019年7月13日付朝鮮労働党機関紙『労働新聞』は、党機関誌『勤労者』と共同で、「自力更生は朝鮮革命の永遠なる生命線」と題する社説を掲載した。

社説は「自力更生は、決して情勢の変化の要求や前進に横たわる一時的な難関を克服するための戦術的な対応策ではなく、私たちの党と人民が社会主義建設の根本方向、発展方式で確定して一貫して堅持していく不変の政治路線」であり、「偉大な領袖の指導のもとに、自力更生する国家と人民は必勝不敗だ」と主張した。

平壤化粧品工場で20種類以上の新製品が開発

2019年7月15日付『朝鮮中央通信』によれば、最近、平壤化粧品工場で20種類以上の新製品が開発され、その中には、治療用化粧品であるベビーパウダーや蚊よけ香水、蚊よけクリームなども開発され、人気を博しているそうである。

内閣全員会議拡大会議開催

2019年7月20日付『朝鮮中央通信』によれば、内閣全員会議拡大会議が行われた。会議では、「敬愛する最高指導者、金正恩同志が今年の新年の辞で提示した戦闘的課題執行状況と、党中央委員会第7期第4回総会の決定を貫徹するた

めの、上半期の人民経済計画実行定型総和と第3四半期対策について」が討議されると共に、上半期工業総生産額の計画は8%の超過達成であったことが言及された。

金正恩委員長が祖国解放戦争参戦烈士廟を訪問

2019年7月28日付『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮戦争休戦66周年に際して、金正恩委員長が同月27日の午前、祖国解放戦争参戦列烈士廟を訪問した。

金正恩委員長が国立交響楽団の7.27記念コンサートを鑑賞

2019年7月28日付『朝鮮中央通信』によれば、金正恩委員長が国立交響楽団の7.27記念コンサートを鑑賞した。

平壤靴下工場で機能性ソックスを新たに生産

2019年8月2日付『朝鮮新報』によれば、平壤市の平壤靴下工場が新たに機能性ソックスを生産し、好評を博しているそうである。絹糸を混紡した夏季用の靴下や、抗菌力が強いナノ銀を浸透させた靴下など、付加価値(価格が約1.2倍)の高い商品を開発しているとのことである。

元山・松涛園で国際少年団キャンプ始まる

2019年8月2日付『朝鮮新報』によれば、同年7月31日江原道元山市の松涛園国際少年団キャンプ場で第34回松涛園国際少年団キャンプが始まった。キャンプには朝鮮と中国、ロシア、ベトナム、ラオス、インド、ドイツの少年団と海外同胞

少年キャンプ団が参加しているとのことである。松涛園国際少年団キャンプ場は5年前に改修され、14年5月2日に竣工式が行われた。それから5年の間に、6万3千余人の全国の学生少年、諸外国の子どもたちが利用した。

北朝鮮の工場や企業所で活発に行われるリサイクル活動

2019年8月2日発『朝鮮中央通信』によれば、工場や企業所で廃棄物などをリサイクルして効果的に利用するための活動が繰り返されているそうだ。金属建設事業所でくずプラスチックを利用して生産しているプラスチック型枠は、江原道の元山葛麻海岸観光地区をはじめ建設事業においても広く利用されており、平壤ゴム工場では古いタイヤから回収した糸からベルトを、清津漁具工場(咸鏡北道)では古くなった網を利用して養殖用ロープを作るなど、各地でさまざまなリサイクル活動が行われているとのことである。リサイクル活動は国家的に奨励されており、金正恩委員長が江界精密機械工場を視察した際には、リサイクル活動に言及した。

羅先市チョンゲ小学校が竣工

2019年8月5日発『朝鮮中央通信』によれば、羅先特別市羅津地区にチョンゲ小学校が竣工したとのことである。4階建ての校舎と体育館、学習場所、運動場などの各種設備をしっかりと備えているそうである。

平壤で「中国の特色ある社会主義建設の成果写真展」が開催

2019年8月6日発『朝鮮中央通信』によれば、平壤市の人民文化宮殿で、「中国の特色ある社会主義建設の成果写真展」が同月6日～8日まで開催された。

三大革命展示館に新たな常設展 —先端・知的製品交流展示場

2019年8月8日付『朝鮮新報』によれば、平壤市の三大革命展示館に新たな

常設展「先端および知的製品交流展示場」が設置され、運営がスタートした。展示場は、全国各地の科学研究機関と工場、企業所などで研究開発した先端および知的製品を展示し、新たな科学技術成果の普及と交流を目的としたもの。技術交流と製品流通の媒介としての役割を担うとのことである。

現在は、祥原セメント連合企業所、国家科学院の有色金属研究所と自動化研究所、平壤大聖タイヤ工場、平北綜合大学、龍成肉加工工場など60余の出品団体が開発した機械設備、健康食品、医薬品、日用品などの新製品が展示されているとのことである。

最高人民会議第14期第2回会議

2019年8月29日発『朝鮮中央通信』によれば、平壤市の万寿台議事堂で、最高人民会議第14期第2回会議が開催された。会議には、最高人民会議代議員が参加した。会議では、(1)朝鮮民主主義人民共和国社会主義憲法の一部内容を修正補充することについて、(2)組織問題(人事)が討論された。

第一議題では、崔竜海最高人民会議常任委員会委員長が、「金正恩同志の唯一的指導の下、社会主義強国建設をさらに力強く推し進めていくことができる強力な法的保障を用意するため」憲法改正を行うとし、憲法第6章「国家機構」で国家機関の力と関連した問題をいくつかの修正補充したことに対して言及した。崔竜海委員長は、「朝鮮民主主義人民共和国国務委員会委員長の法的地位と力に関連して、朝鮮民主主義人民共和国国務委員会委員長は、全朝鮮人民の総意に基づいて最高人民会議で選挙し、最高人民会議代議員には、選挙しないという内容を新しい条文に規制することにより、名実共に全朝鮮人民の様な意思と念願によって推戴される、わが党と国家、武力の最高指導者であることが法的に固定された」「朝鮮民主主義人民共和国国務委員会委員長の任務と権限に関連して、朝鮮

民主主義人民共和国国務委員会委員長は、最高人民会議法令、国務委員会の重要精霊と意思決定を公布するという内容と、他の国に駐在する外交代表を任命または召喚する内容を新たに補充した」「朝鮮民主主義人民共和国国務委員会委員長命令、国務委員会政令、決定、指示執行状況を監督し、対策を立てるという内容を含め、国務委員会の任務と権限が修正補充されることで、敬愛する最高指導者同志の唯一的指導を実現する重要機関としての国務委員会の法的力がさらに強化され」「今回修正補充することになる社会主義憲法が国家の全般事業に対する金正恩同志の唯一的指導を確固と保障し、私たちの人民主権の強化と社会主義強国建設のための全人民敵対進軍を法的に頼もしい保障になる」として、憲法改正を提議した。会議では、朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議法令「朝鮮民主主義人民共和国社会主義憲法の一部内容を修正補充することについて」が全員賛成で採択された。

第二議題では、金永大代議員を最高人民会議常任委員会副委員長から召選し、朝鮮社会民主党中央委員会委員長のパク・ヨンイル代議員を最高人民会議常任委員会副委員長に補欠選挙した。また、平安北道人民委員会委員長のチャン・セチョル代議員を最高人民会議法制委員会委員に補欠選挙した。朝鮮民主主義人民共和国内閣総理の提議によって、ソン・ヨンファン氏を内閣事務長に新しく任命した。

金正恩委員長が平安南道陽徳郡の温泉観光地区の建設現場を視察

2019年8月31日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩委員長が平安南道陽徳郡の温泉観光地区の建設現場を視察した。

ERINA 調査研究部主任研究員
三村光弘